

北前船子ども調査団

北前船寄港地である福井県、新潟県、山形県、秋田県、青森県、北海道の小学生が地元の遺産・遺構を訪ね、北前船がもたらした文化、伝統を各エリアごとに学びます。また、8月には各地から代表者が小樽に集まり、調査結果を共有し、北前船を地域の宝として再認識します。さらに、それをガイドブックにして学校や各自治体・観光施設などを通じて全国に届けます。



MEMO

気づいたことや、聞きたいことなどをメモしましょう!



2017年6月17日		
8:45	JR札幌駅北口集合 (車中、自己紹介や基礎授業)	
10:00	小樽総合博物館・運河館着 (小樽運河周辺倉庫調査 (運河沿いに建つ倉庫を学ぶ))	
10:45	祝津展望台着 (小樽港全体の地形を見る)	
11:50	12:10	茨木家中出張番屋着 (昼食)
13:00	JR札幌駅北口集合	
13:15	祝津港着 (遊覧船に乗船し地形を確認)	
13:50	小樽港着	
14:10	小樽市総合博物館着	
14:30	調査まとめ、発表等	
15:30	つし牧田 (和菓子製作体験)	
17:00	解散 / 又で札幌へ	
18:00	JR札幌駅北口着・解散	

スケジュール

- 事前調査指令の5つのクイズで北前船を調査しましょう。
- 北海道(蝦夷地)に稲作が定着する前、北前船が運んでくるお米に頼っていましたが、お米(ごはん)と同じように欠かすことが出来なかった物に、「稲わら」がありました。その利用方法と目的は?
 - 北海道から本州へ、北前船でたくさんのお土産物が運ばれていました。北海道の港町を出港した北前船が、終着地の大阪に到着するまで約2ヶ月。この期間、積み込まれたお土産物が腐ったりするのを防ぐため、いろいろな工夫や加工がされていました。何のお土産物が運ばれていたのか3つあげて、それらが腐ったりしないためにされた工夫や加工はどのようなものでしたか?
 - 北前船(弁財船)は、1枚の帆が風を受けて進みますが、向かい風の時は、どのように船を進めたのでしょうか? また、動力が風のため、港では岸につけることができず、普通は沖に停泊させていました。では、荷物の陸揚げはどのように行われていたのでしょうか?
 - 北前船に積み込まれた「船筆筒」について、「船筆筒」の三大生産地はどこでしょうか。また、「船筆筒」は金具で補強され、丈夫に作られています。北前船主は、建築費を安く、それでいて丈夫な倉庫が多かった。北前船主が作った「倉庫」が多くあります。船頭であり、商人であった多くの北前船主は、建築費を安く、それでいて丈夫な倉庫の建設を工夫します。その工夫とは、どのようなものでしょうか? また、倉庫の屋根には瓦が使われました。北海道では瓦屋根は不向きといわれていますが、あえて瓦屋根にしたのはなぜでしょうか?

北前船子ども調査団

クイズ

MEMO

気づいたことや、聞きたいことなどをメモしましょう!



